

3 令和6年台風第10号による県内の 被災状況等について

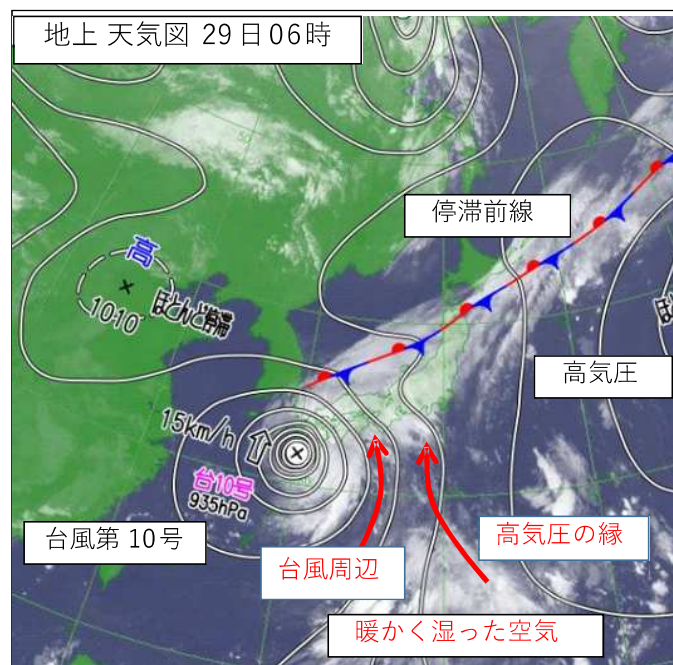


気象概況について

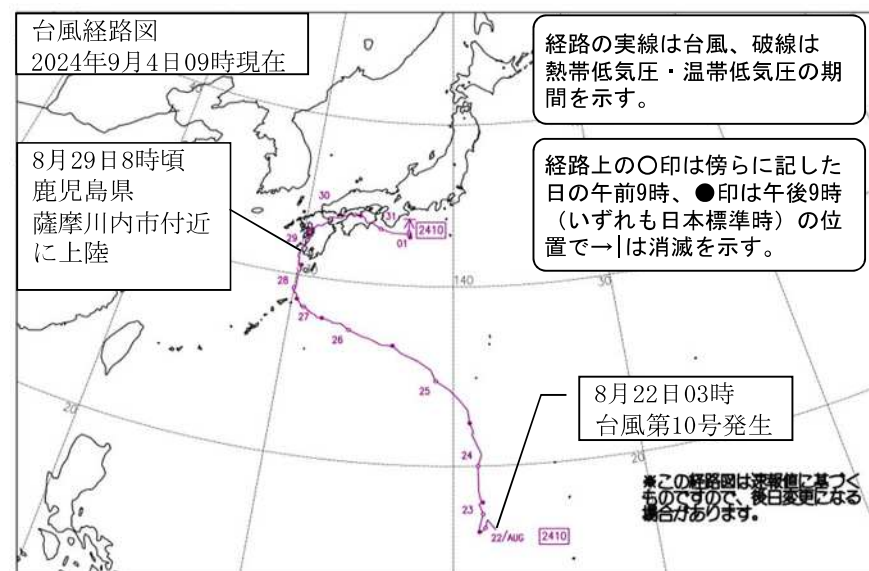
横浜地方気象台

● 令和6年台風第10号（サンサン）について

▼8月22日にマリアナ諸島で発生した台風第10号は、24日にかけて発達しながら北へ進み、25日には進路を北西へ変えて進んだ。台風は日本付近で動きが遅くなり、27日に非常に強い勢力となって奄美群島に接近した後、29日に鹿児島県薩摩川内市付近に上陸した。上陸後は、勢力を弱めながらゆっくりとした速度で九州や四国を通過して東海道沖へ進み、9月1日に熱帯低気圧に変わった後、2日までに不明瞭となった。



赤外衛星画像と実況天気図



台風第10号の経路図

● 令和6年台風第10号等による大雨（8月29日～9月2日）

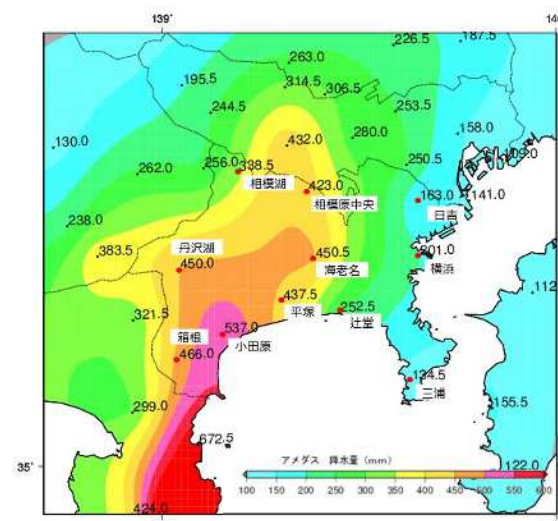
▼神奈川県では8月27日から9月2日にかけて、動きの遅い台風第10号や太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気の影響が長く続き、大気の状態が非常に不安定となり広い範囲で大雨となった。

➤ 大雨の影響により、横浜地方気象台では、京浜河川事務所や神奈川県と共同で、8月30日に相模川下流で氾濫注意情報、鶴見川で氾濫警戒情報、相模川中流で氾濫注意情報の指定河川洪水予報を発表、また、中小河川等において県内で複数の氾濫・浸水があった。



8月30日03時の洪水キキクル

➤ 県内のアメダスの雨量では、月最大72時間降水量が小田原市で529.5mm(9月1日7時30分)、海老名市で444.5mm(9月1日12時50分)、平塚市で427.5mm(9月1日9時50分)、相模原市中央で420.5mm(9月1日12時20分)と観測史上1位の値を更新した。これは平年の8月の月降水量の2.1～3.3倍に相当した。



アメダス積算降水量分布図
(8月29日06時～9月2日12時)